

市立函館病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2023年2月13日

① 研究課題名	「早期からの緩和ケア」と緩和ケア介入後の生存期間についての検討		
② 対象者	2018年4月から2022年12月までに当院緩和ケアチームが介入した患者さん		
③ 実施予定期間	病院長許可日 ~ 西暦 2023 年 7 月		
④実施機関	市立函館病院		
④ 研究代表者	氏名	山崎裕	所属 市立函館病院 緩和ケア科
⑤ 当院の研究代表者	氏名	山崎裕	所属 市立函館病院 緩和ケア科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報		
⑧目的	2002年にWHOが示した緩和ケアの定義において「早期からの緩和ケア」の必要性はすでに提示されており、わが国のがん対策基本法（2007年）においても「がんと診断された時からの緩和ケア」の提供は基本的施策とされている。しかし実際には緩和ケアチームが介入してすぐに亡くなるさんがまだ多いのも事実である。われわれは早期からの緩和ケアが行われている患者さんは、緩和ケア介入後の生存期間が長いという仮説をたて、それを検証する。		
⑨方法	2018年4月から2022年12月までに緩和ケアチームが介入した患者さんを対象とする。がんと診断されてから緩和ケアチームが介入するまでの期間（A）と緩和ケアチーム介入から死亡までの期間（B）を後方視的に調査する。さらにAとBの比を早期からの緩和ケアの指標とみなし、Bとの間に相関関係があるかを年度別に検討する。		
⑩倫理審査	市立函館病院 研究倫理委員会		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。		
⑫プライバシー	名前、住所など患者さん個人を特定できる情報は削除して管理します。情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。		
⑬利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。		
⑭問い合わせ	【当院の相談窓口】 函館市港町1丁目10番1号 市立函館病院 緩和ケア科 氏名 山崎裕 0138-43-2000（代表）		